第４章　医　療　の　状　況

１．医療施設

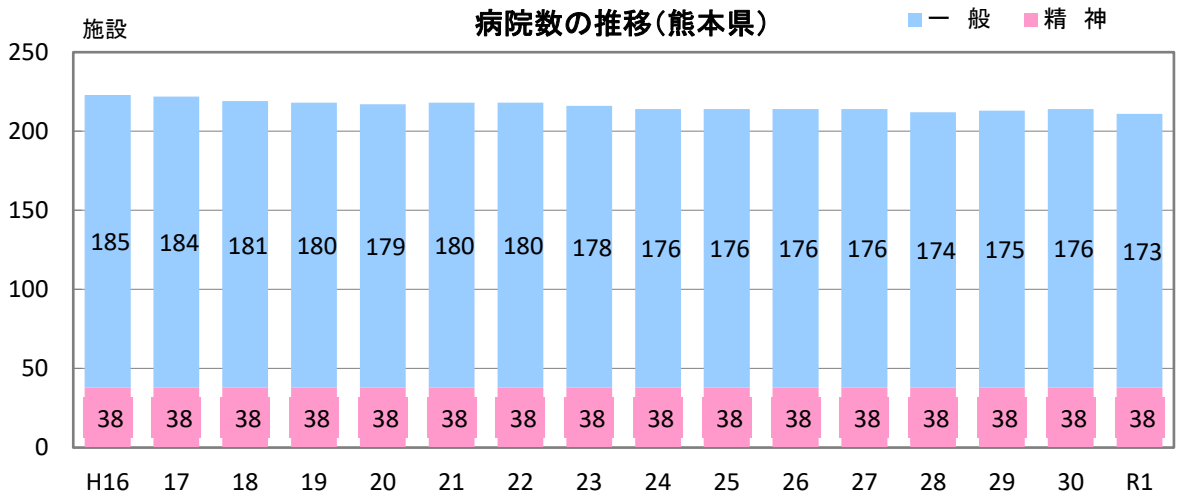
(1) 病院及び歯科診療所の施設数は減少、一般診療所の施設数は増加

令和元年10月1日現在における熊本県内の医療施設数総数は、2,525施設(ただし、「休止・1年以上休診中」の施設を除く)で前年から1施設増加した。

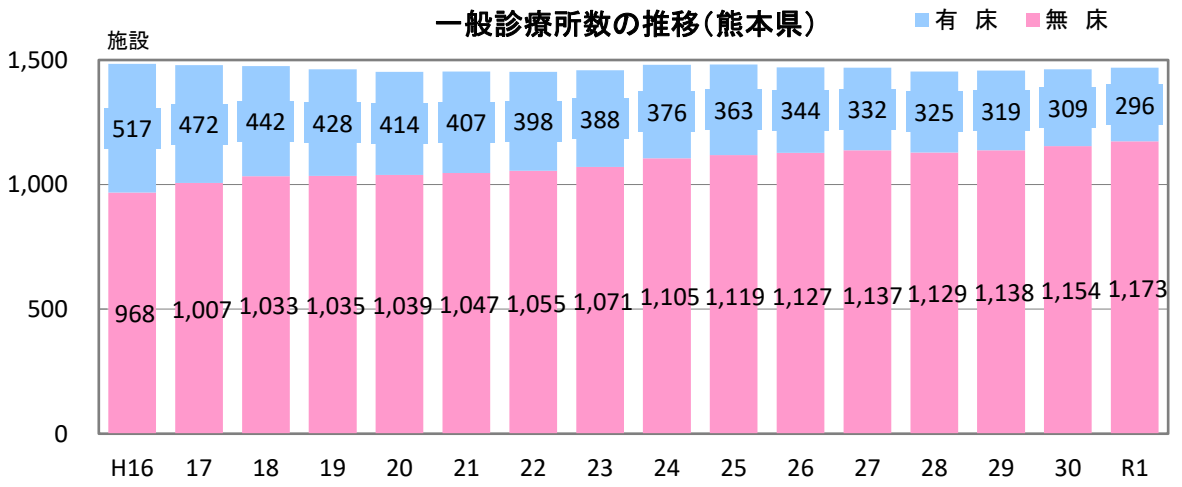
病院は211施設で、前年から3施設の減少。一般診療所は1,469施設で、前年より6施設増加している。その中で有床診療所(296施設)は年々減少する一方、無床診療所(1,173施設)は増加傾向であり、今回は19施設の増加となった。歯科診療所は845施設で、前年より2施設の減であった。

人口10万当たりの病院数と一般診療所数は全国より多いが、歯科診療所数は全国より少ない。

開設者別にみた施設数では、病院は「医療法人」が162施設(病院数の76.8%)と最も多く、次いで「公的機関」が23施設(11.4%)である。一般診療所は、「医療法人」が783施設(一般診療所数の53.3%)と最も多く、次いで「個人」が396施設(27.0%)となっている。歯科診療所は、「個人」が613施設(歯科診療所数の72.5%)と最も多く、次いで「医療法人」が228施設(27.0%)となっている。

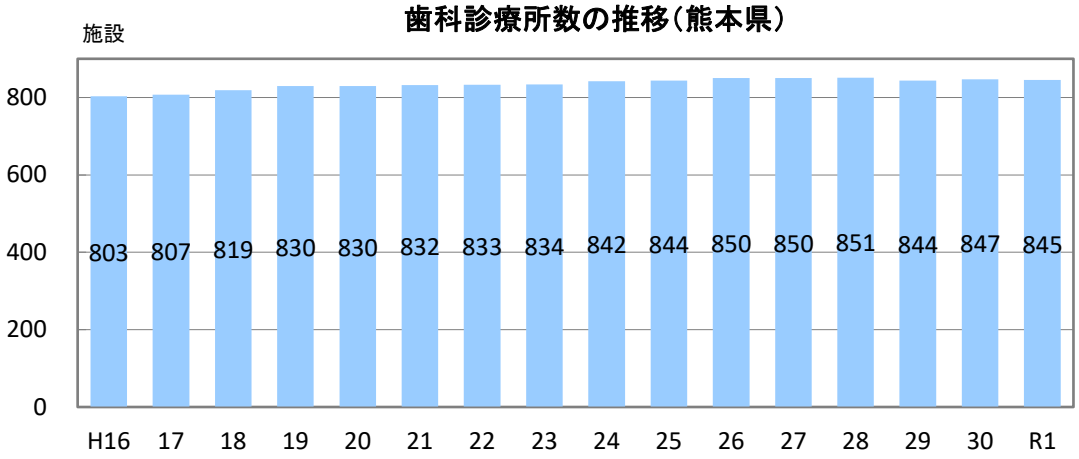


資料）厚生労働省「医療施設調査」（各年10月1日現在の施設数）



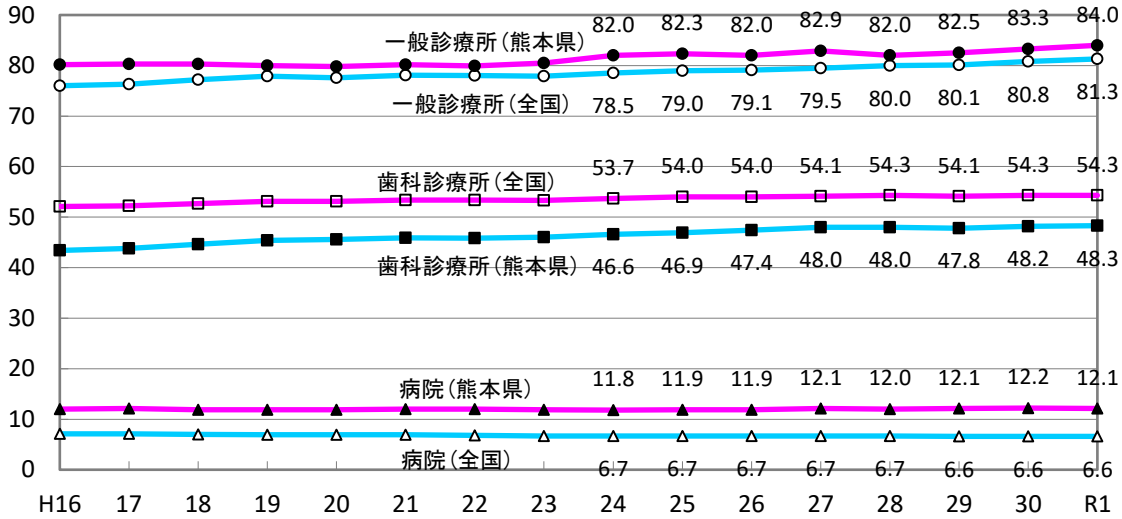
資料）厚生労働省「医療施設調査」（各年10月1日現在の施設数）

歯科診療所数の推移（熊本県）



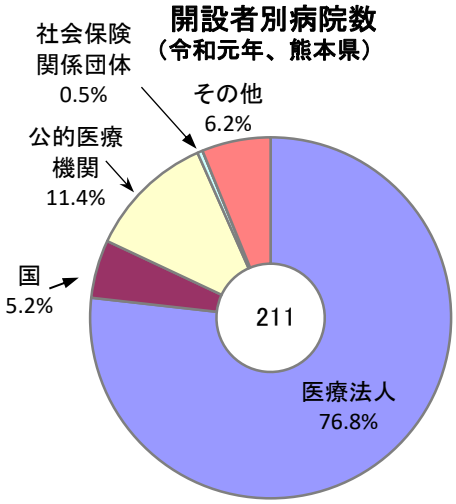
資料）厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」（各年10月1日現在の施設数）

人口10万対医療施設数の推移（全国－熊本県）

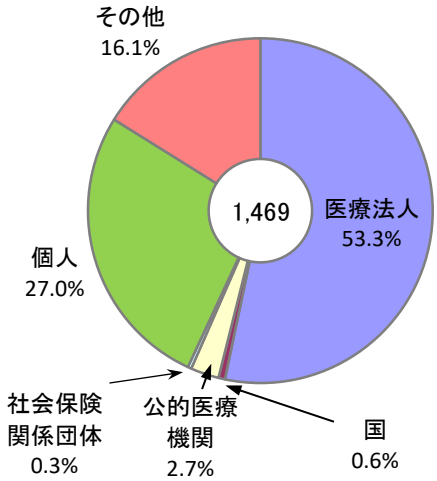


資料）厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」（各年10月1日現在の施設数）

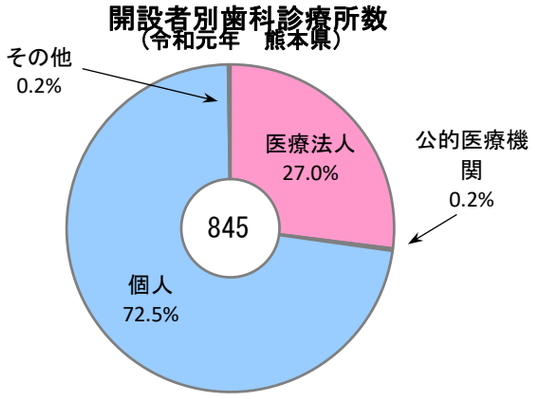
開設者別病院数
（令和元年、熊本県）



開設者別一般診療所数
（令和元年、熊本県）



資料）厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」（10月1日現在）

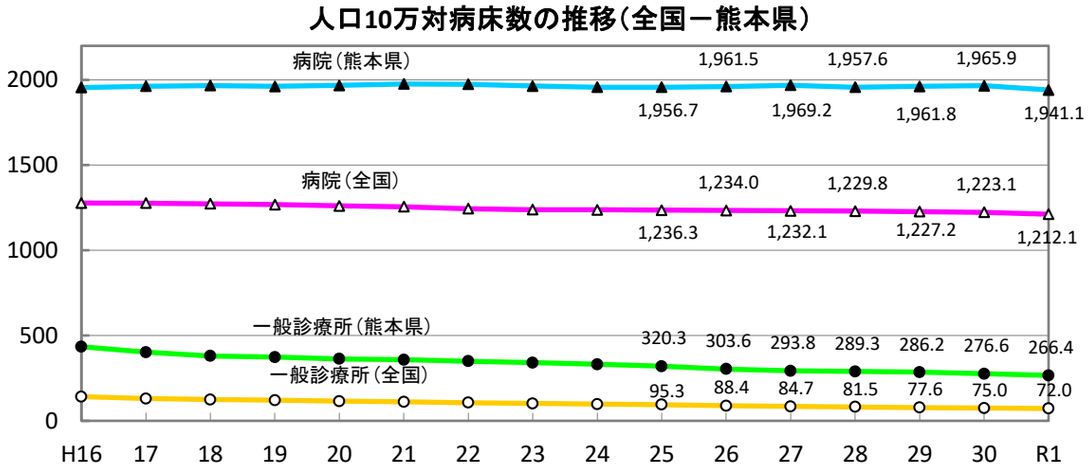


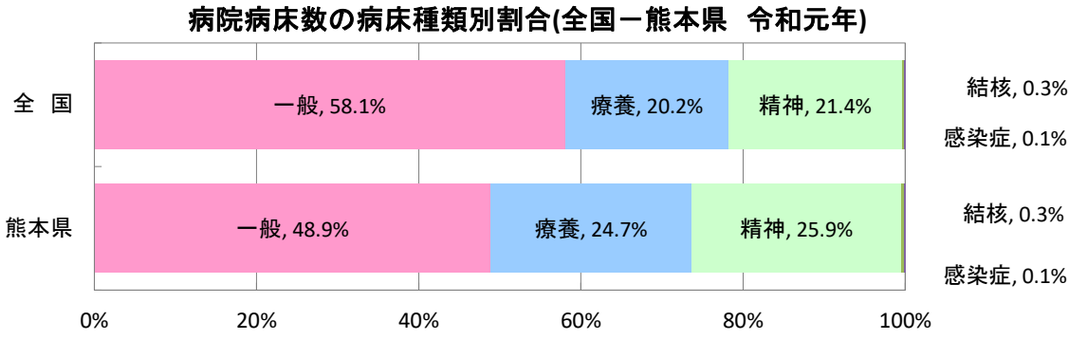
資料）厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」（10月1日現在）

(2)病院及び一般診療所の病床数は、減少

令和元年10月１日現在の人口10万対病床数は、熊本県で病院が 1,941.1床（精神病床 503.2床、感染症病床 2.7床、結核病床 5.8床、療養病床 479.9床、一般病床949.4床）、一般診療所が266.4床、歯科診療所が0床であった。

病床数は、病院で前年に比べ24.8床(人口10万対病床数)減少し、一般診療所においては前年より10.2床(人口10万対病床数)減少している。全国の病床数も減少傾向だが本県との差は大きく、依然として全国に比べて病床数は多い。

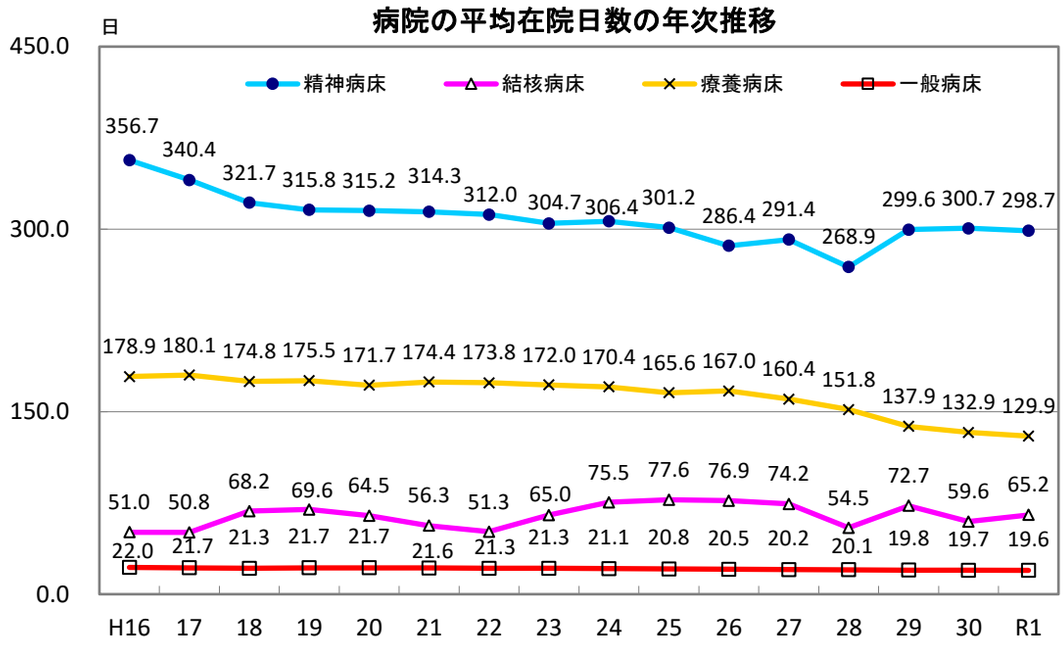




資料）厚生労働省「医療施設（静態・動態）調査」（10月1日現在）

(3) 病院の平均在院日数は、精神・療養・一般病床で減、結核病床で増

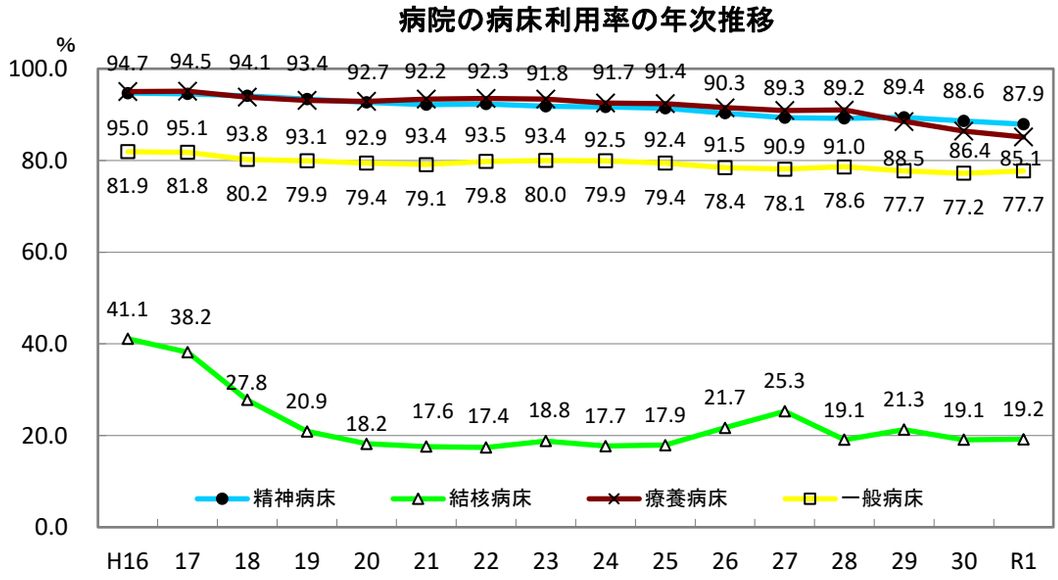
病院の平均在院日数の年次推移をみると、前年と比較して、精神病床で2.0日減少、結核病床で5.6日増加し、療養病床で3.0日減少、一般病床で0.1日減少している。



資料）厚生労働省「病院報告」

(4) 各病床の病床利用率は、精神・療養病床で減少、結核・一般病床で増加

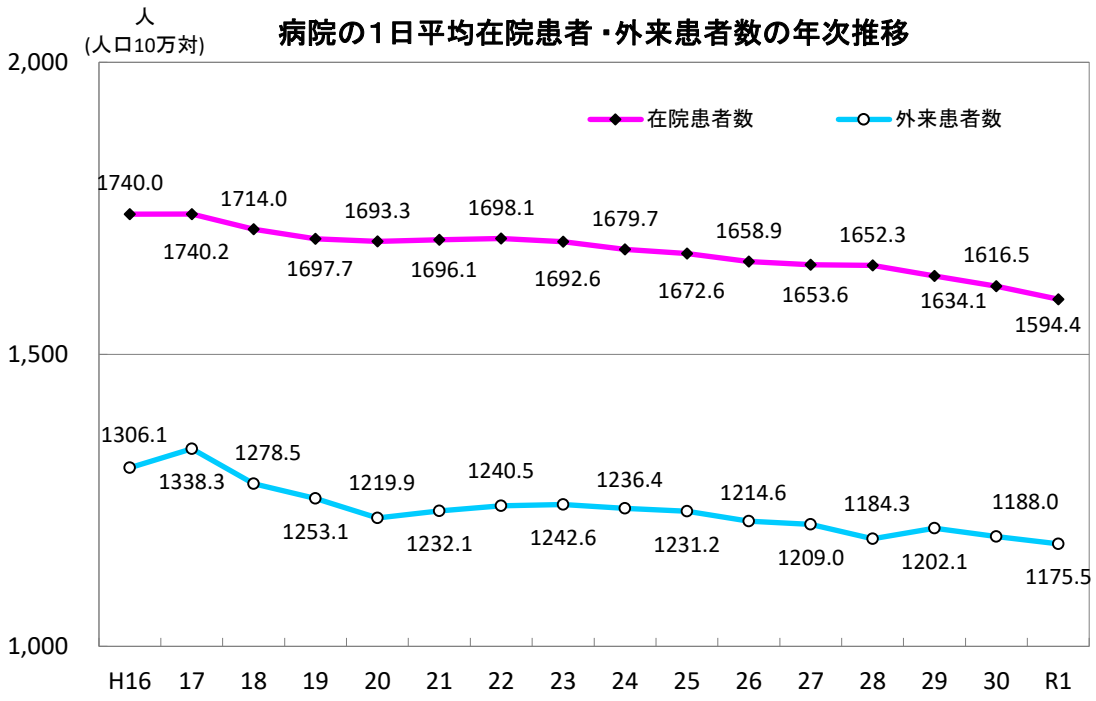
病院の病床利用率をみると、前年と比較して、精神病床で0.7ポイント減少、結核病床で0.1ポイント増加、療養病床で1.3ポイント減少、一般病床で0.5ポイント増加している。



資料）厚生労働省「病院報告」

(5) 病院の１日平均在院患者数、外来患者数ともに減少

病院における令和元年の人口10万対1日平均在院患者数は1,594.4人で、前年に比べ22.1人減少し、人口10万対1日平均外来患者数は、1,175.5人で、前年に比べ12.5人減少している。



資料）厚生労働省「病院報告」